

令和5年度第2回ブリ担当者会議

(議事概要)

令和6年3月13日(水)12:00~3月18日(月)12:00にかけてメール形式による標記会議を開催し、ブリの将来予測に係る水産庁からの事務連絡の回答について検討した。

令和5年10月11日(水)に開催された資源管理方針に関する検討会(ブリ)第1回において、ブリで採用するリッカー(RI)型再生産関係で加入量が最大となる親魚量を目標とすることについて議論となった。さらに、同検討会において漁獲量変動緩和シナリオによる将来予測の結果について説明・議論した。これらの議論を踏まえて上記事務連絡に基づき、管理基準値案 SB_{msy} を目標とした時、およびブリに適用されているRI型再生産曲線で加入量が最大となる親魚量 SB_{Rmax} を目標とした時に、管理開始後5年間は前年の漁獲量の削減幅を10%以内に制限する代替漁獲管理規則案による将来予測を実施した。

上記内容の将来予測とリスク評価を実施し、文書案を作成し、本会議で諮問した。諮問の結果、下記の指摘について対応した。

- ・ 漁獲量変動緩和シナリオについて、漁獲量の増加については緩和の対象としないことについての確認
- ・ 要約において、漁獲量変動緩和シナリオの定義の記載がなく、読者の理解のため同シナリオの定義を加筆
- ・ 本文中における現状の漁獲圧の FSB_{Rmax} (SB_{Rmax} を実現する漁獲圧) に対する比の追記
- ・ 図3と4における破線 (USB_{Rmax}) の位置の確認と修正
- ・ 表1~4における γ の記載と説明の追加

本会議での検討を経て、本文書案(FRA-SA2024-SSC02-03)は承認された。